

北清掃工場建替工事の概要 及び進捗状況

～北清掃工場が新しくなります～



新工場イメージ図

東京二十三区清掃一部事務組合は、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、23区で発生する一般廃棄物の安定的な全量処理体制の確保に向け清掃工場等の施設整備を行っています。

令和5年から北清掃工場の建替工事と中防不燃・粗大ごみ処理施設の整備工事を開始しましたので、工事の概要と進捗状況をご紹介します。

北清掃工場建替工事の概要

北清掃工場は、昭和44年に初代工場が稼働し、その後、建替えを行い、平成10年に二代目工場がしゅん工しました。今回二代目工場の焼却設備が耐用年数を迎えたため、令和5年2月に稼働を停止し、建替工事を開始しました。



飛灰搬出設備の洗浄状況

新工場の基本コンセプト

新工場の焼却能力は、600トン/日と二代目工場と比べ変わリませんが、焼却炉を2基に分け、1炉あたり300トン/日となります。また、最新の公害防止設備の導入により、環境への負荷を抑えます。煙突の高さは、二代目工場と同じく120メートルです。

新工場は、「環境に配慮し、地域に親しまれる清掃工場」という基本コンセプトのもと、「緑地との調和」、「環境との共生」、「エネルギーの有効利用」、「施設の強靱化」の4つの基本方針で、計画を進めています。これに基づき、周辺環境との調和や、ごみの焼却による熱エネルギーの有効利用、浸水防止設備の設置による施設の強靱化などを行います。



ワイヤーソー工法



工場棟外壁パネルの撤去状況

建替工事の進捗状況

令和6年7月現在、解体工事を行っており、計量棟や飛灰搬出設備などの付属棟の解体が完了しています。

飛灰搬出設備棟の解体では、解体前に設備を洗浄し、付着物を除去しました。

工場棟では、飛灰搬出設備棟と同様に焼却設備を洗浄した後、設

備の解体作業を順次進めています。解体が完了した部分については、外壁パネルや床などのコンクリート躯体の撤去も行っています。コンクリート躯体の撤去では、騒音、振動、粉じんの発生を抑制できるワイヤーソー工法を採用し、近隣へ配慮しながら工事を進めています。

新工場のしゅん工は令和12年2月の予定です。工事期間中は、安全に工事を進めていくとともに、周辺環境に十分配慮し、地域に親しまれる清掃工場を目指して建替工事を進めていきます。

【工事概要】

- 工事場所 東京都北区志茂一丁目2番36号
- 敷地面積 約20,000m² (緩衝緑地を含む)
- 工期 令和5年2月28日～令和12年2月28日
- 施工者 三菱・フジタ特定建設工事共同企業体
- 建設工事
 - 工場棟 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造地上5階/地下3階 高さ約31m
 - 煙突 高さ約120m
- プラント
 - 焼却炉 全連続燃焼式火格子焼却炉 (廃熱ボイラ付)
 - 焼却能力 600トン/日 (300トン/日・炉×2基)
 - 発電設備 定格出力 約20,000kW